

## SX キャピタル、「SXC 投資事業有限責任組合」ファンドを設立 ～先端デジタルテクノロジーを活用した事業を推進する ベンチャー企業を対象に成長を支援～

株式会社 SX キャピタル(本社:東京都港区、代表取締役社長:近藤 秀樹、以下、SXC)は、このたび、ベンチャー企業を対象とするファンド「SXC 投資事業有限責任組合(以下、SXC ファンド)」を設立いたしました。SXC ファンドは、先端デジタルテクノロジーを活用した事業を推進し、豊かな社会実現に貢献するベンチャー企業への投資、および成長支援を目的としております。また、資本提携先である株式会社シグマックス(本社:東京都港区、代表取締役会長兼社長:倉重 英樹、東証一部:6088、以下、シグマックス)との連携のもと成長支援を行うことで、SXC ファンドを通じたイノベーションのさらなる加速を目指します。

SXC ファンドは、現時点でシグマックスの他、独立行政法人中小企業基盤整備機構(所在地:東京都港区、理事長:高田 坦史、以下、中小機構)や、大手金融機関、事業会社等の有限責任組合員によって構成されており、設立時 22 億円の規模でスタートいたしました。今後、追加の出資を受け入れる予定で、3 月末のファイナルクロージングに向けてファンド規模を更に拡大させてまいります。

SXC は現在、20 億円規模の「インテック・アイティ 2 号投資事業有限責任組合(2 号ファンド)」を運営しており、同ファンドではこれまでに 13 社に対する投資を実施しました。株式会社ワイヤレスゲート(本社:東京都品川区、代表取締役 CEO:池田 武弘)や株式会社メタップス(本社:東京都港区、代表取締役社長:佐藤 航陽)など、株式公開に至ったベンチャー企業の初期段階に投資を行うなど、高いパフォーマンスを実現しています。SXC ファンドは、SXC のこれまでの経験と実績に加え、2016 年 9 月に資本提携したシグマックスとの連携によって、より支援力を強化した組合として設立されました。SXC ファンドの概要は以下の通りです。

### SXC 投資事業有限責任組合の概要

組合名	SXC 投資事業有限責任組合
ファンド総額	22 億円(設立当初)
設立日	2017 年 12 月 1 日
期間	10 年間
無限責任組合員	株式会社 SX キャピタル
有限責任組合員	中小機構、株式会社シグマックス 他 金融機関、事業会社等
投資対象	先端デジタルテクノロジーを活用した事業を推進するベンチャー企業

デジタル化が加速する世の中において、先端テクノロジーを活用することで、自らの成長のみならず、豊かでワクワクする社会の実現を目指すベンチャー企業を、SXC はこれからも力強く支援してまいります。

## ■株式会社 SX キャピタルについて

社名	株式会社 SX キャピタル
所在地	東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 12 階
代表者	代表取締役社長 近藤 秀樹
設立日	2000 年 8 月 28 日 ※ 2016 年 9 月 30 日、役職員等によるマネージメント・バイアウト(MBO)の手法により株主構成を変更し、社名を株式会社インテック・アイティ・キャピタルより株式会社 SX キャピタルへと変更しました。
資本金	100,000 千円
株主構成	株式会社 S&S インベストメント 100%
事業内容	未公開 IT 関連ベンチャー企業を投資対象とした投資事業組合等の財産運用および管理
URL	<a href="http://www.sxcapital.jp/">http://www.sxcapital.jp/</a>